（一社）九州観光推進機構 活動レポート

－ 2017年4月号 －

３月のトピックス

○ ASEAN 市場における旅行商品即売会等出展事業（11月～3月：タイ、マレーシア、インドネシア）

インドネシアのジャカルタ市内のショッピングモールにおいて開催された Japan Travel Fair2017（３月３～５日）、マレーシアのクアラルンプールで開催された MATTA フェア（３月１７～１９日）にブース出展し、九州のＰＲを行いました。インドネシアにおいては、多くの来場者でブースが賑わい、九州の認知度を高めることができました。マレーシアにおいては、旅行博に伴い、翌日に開催された現地旅行会社向けセミナー・商談会にも出席し、現地旅行会社から有意義なヒアリングをすることができました。今後は招請事業と連携した九州ブースの出展を検討し、より効果的な九州への観光誘致を図っていきます。

○ 九州のナショナルパーク等の魅力発信による台湾からの観光復興事業

（3月5～9日：熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県）

この度の招請事業は、２０２０年に向けての国立公園ステップアッププログラムの一環で、台湾の旅行会社１０社１０名、メディア４社４名を招請し、国立公園内で多くの観光、体験をしていただきました。霧島錦江湾国立公園では、白鳥山登山コースを体験しました。トレッキングとしてはハードな道のりでしたが、招請者全員が素晴らしい景色を堪能し、達成感に満たされました。阿蘇くじゅう国立公園内、タデ原湿原は、四季を感じながら楽しめるちょうど良いトレッキングコースで、暖かい季節を迎える頃には多くの花々を楽しむことができると思います。 招請者に最も人気があった体験は、国立公園内の乗馬で、広々とした阿蘇の山々を背景に本場さながらの乗馬を満喫しました。今後の旅行商品造成の促進や情報発信を図ります。

○ 『九州ふっこう割』が第２３回リビング新聞「助かりました大賞」の一般・サービス部門で銅賞受賞（3月6日：九州観光推進機構 会議室）

１年間で主婦が「助かった」と実感した新商品や新サービスを選ぶ、㈱サンケイリビング新聞社主催のリビング新聞「助かりました大賞」第２３回の一般・サービス部門（西日本）において、『九州ふっこう割』が入賞１０作品にノミネートされ、その後の公開投票の結果、銅賞を受賞しました。

『九州ふっこう割』は熊本地震の影響で落ち込んだ観光産業の回復のため、国からの交付金で九州７県への旅行がお得になる商品で２０１６年７月～１２月に販売され、目標の１．８倍となる、延べ２７０万人以上という多くの皆さまにご利用頂きました。

○ 「Kyushu Article Contest」「Kyushu Onsen Contest 」の表彰式開催

（3月6日：電気ビル共創館 福岡市）

今年度も「Kyushu Article Contest」を英語、韓国語、中国語（簡体字、繁体字）で実施し、１６の国と地域から２０８件のブログ記事をご投稿いただき、各言語４名の方が受賞されました。どの記事も、それぞれの体験を元にご紹介いただいている、とても興味深い内容でした。

また、九州の温泉の魅力をより多くの方々に知っていただくため、外国人が選ぶ「Kyushu Onsen Contest」も開催しました。その結果、３，０６１票の投票があり、今回は、７４９票を獲得した長崎県の雲仙温泉が第１位に輝きました。

○ 中台湾観光推動委員会との観光友好交流協定締結（3月10日：台湾 台中市）

台湾中部７県市による「中台湾観光推動員会」と観光友好交流連携に関する協定を締結しました。この協定の締結を契機に、中台湾と九州との友好交流を深め、お互いの観光誘客を促進していきます。

○九州への誘客促進のための欧州市場における有力メディア招請

（3月16～19日：福岡県、熊本県、大分県）

２０１６年に続き、２０１７年４月末から１０月まで就航予定のするフィンランド航空と連携して、欧州の有力メディア９社９名を招請しました。初来日のメディアの方が約半数おり、九州の伝統文化や食、温泉、大自然等に感銘を受けていました。今回の招請では九州オルレを体験してもらったのですが、自然と日本文化が融合した光景には、特に感動しており、欧州市場に対して効果的な観光素材だという意見を多くいただきました。２０１７年４月末からの就航前の期間に、欧州各国の有力メディアを通して効果的に発信し、九州への誘客拡大に繋げていきます。

○ 九州運輸局調査事業：クルーズ船寄港地における上質な着地型観光の実現に向けた調査事業検討会**（3月16日、17日、21日：長崎、鹿児島、八代、博多）**

九州運輸局（観光庁）調査事業として、増加する九州へのクルーズ船ツアーの実態調査とともに、実際にクルーズ船に乗り、ツアー参加者への聞き取り調査などを行いました。また、九州内４港（博多・長崎・八代・鹿児島）への寄港時に観光可能な周辺の施設を、中国人モニターによって調査し、中国人目線による興味度や受け入れ環境など確認しました。調査結果は、モデルコースの策定などを含め、九州運輸局ＨＰにて４月以降公開予定です。なお、この調査結果については、平成２９年度ＶＪ事業「高品質クルーズ事業」に反映する予定です。

○ 第３回運営協議会**（3月15日：福岡市）**

本年度第３回目の運営協議会を開催し、２７名の委員の皆さんにご出席（代理出席含む）いただきました。

会議では、第５回理事会に提出される、2016 年度事業実施状況、2016 年度補正予算（案）、2017 年度収支予算（案）を含む審議事項７件について意見交換を行い、原案どおり理事会に提案されることが確認されました。

また、熊本地震に関連して、「九州ふっこう割」の実績、九州からありがとうキャンペーンの取り組み等をご説明し、ご質問・ご意見をいただきました。

○大連における BtoB 商談会＆セミナー（3月16日：中国大連）

３月１６日に、「大連における BtoB 商談会＆セミナー」（主催：JNTO 北京事務所）に参加し、新規商品造成に向けた九州の観光資源を PR しました。本商談会には、JR 九州、JR 西日本、じゃらんなどの民間企業、ならびに宮城県大連事務所、富山県大連事務所など公的団体あわせて１３団体が参加し、大連現地の旅行会社９社と商談を行いました。

○ 九州のひなまつり広域振興協議会視察研修及び企画宣伝誘致委員会

（3月22～23日：平戸市）

企画宣伝誘致委員会及び視察研修に参加しました。企画宣伝誘致委員会では各地区の今年度の雛祭りの状況やひな協の取り組み内容などの情報交換を実施し、また今年度のひなまつり協議会の事業報告や決算見込み、H２９年度事業計画予算（案）についての話し合いが行われました。視察研修では２日間に渡り平戸の観光名所、松浦史料博物館、平戸城、平戸オランダ商館等を視察しました。街中の商店の軒先にも共通の雛暖簾が飾られ、視察場所にも必ずといっていい程、ひな人形が飾られており、街全体でひなまつりの告知 PR に力を入れられている事を実感しました。

参加者：九州のひなまつり広域振興協議会会員２３名

○ 九州観光セミナー（3月24日：台湾　台北市）

台湾のＦＩＴに対する九州７県の多様な魅力を楽しむ広域観光周遊ルートの紹介や２次交通の利便性向上の施策の一つとして、現地でセミナーを開催しました。来場者５０名に参加いただき、JWI MARKETING（台湾大手旅行社「雄獅旅行社」のグループ企業）の張氏に九州旅の魅力をＰＲしていただきました。また、九州パンケーキの試食や九州の手土産などを用意し、最後に抽選会を行いました。今後の誘客促進に繋げていきます。

○ 「九州からありがとうキャンペーン」キックオフ開催（3月24日：熊本ホテルキャッスル）

熊本地震からこの４月で１箇年を迎えるにあたり、「九州ふっこう割」などにより全国各地から九州を訪れご支援頂いた皆様に対して九州各地から感謝の気持ちを表すとともに、今後九州を訪れて頂くお客様をおもてなしする、「九州からありがとうキャンペーン」を各県や観光関連事業者と協力して４月より１年間実施します。

キャンペーン開始に先立ち、３月２４日に熊本ホテルキャッスルにてキックオフイベントを開催。第一部は各県のキャンペーン参加事業者代表など計４４名が参加、九州観光の現状説明や本キャンペーン趣旨の再確認などを行いました。第二部は（一社）日本旅行業協会 役員会との合同交流会を開催、合わせて約１２０名が参加。交流会の場をお借りしてキャンペーンに関するプレゼンテーションを実施、主要旅行会社の代表者等へ九州に関する正しい情報発信、統一ロゴの使用、継続的な九州向け旅行商品の造成・発売強化を呼び掛けるとともに、関係者全員で一致団結して「がんばろう」を三唱し強い意気込みを表しました。

○ 南九州教育旅行現地視察会（3月25～27日：3/25熊本県、3/26～27宮崎県、鹿児島県）

南九州教育旅行現地視察会を実施しました。自然、環境、歴史、農業、平和学習など盛りだくさんの内容と、熊本、鹿児島両県の地元関係者の教育旅行に対する熱意が感じられ、参加の先生方に好感を持っていただけるものでした。後日提出されるアンケートでの感想・意見を元に、今後の視察会の更なる内容充実に努めていきます。

なお、今回の視察内容については、教育旅行新聞４月２４日号に特集記事として掲載予定です。

参加者：東京都立高等学校教職員１３名、教育旅行新聞２名

○１日目　熊本城、水俣病資料館（語り部による体験談）、熊本県プレゼン【人吉泊】

○２日目　青井阿蘇神社（最南端の国宝）北霧島民泊（農業体験）、知覧特攻祈念館（語り部による講話）、知覧武家屋敷、鹿児島県プレゼン【鹿児島市内泊】

○３日目　維新ふるさと館、仙巌園

○２０１６年度第５回理事会（3月27日：福岡市）

本年度第５回目の理事会を開催し、2016 年度補正予算（案）、2017 年度収支予算（案）を含む審議事項５件、報告事項２件について審議が行われ、原案どおり承認いただきました。

また、熊本地震に関連して、「九州ふっこう割」の実績、九州からありがとうキャンペーンの取り組み等について、事務局から報告を行い、出席者から様々なご意見をいただきました。

◆ 九州観光推進機構からのお知らせ

○ 九州観光推進機構サイトの会員向け情報ページに「観光統計情報」を掲載（４/１６）

「九州の外国人入国者数の推移について～平成２９年２月（速報値）、平成２８年１月（確定値）」を掲示しました。ぜひご活用ください。

なお、会員向け情報ページを閲覧するには、ＩＤとパスワードが必要になります。ご不明な点は下記お問い合わせ先までお願いします。

○ 人事往来

３月に事業本部スタッフの人事異動がありましたので、よろしくお願い申し上げます。

【転入者】　［　］内は派遣元

事業本部長	渡邉　太志	［九州旅客鉄道（株）］
海外誘致推進部部長	大衛　正直	［宮崎県］
企画部次長	川口　正剛	［長崎県］
企画部次長	吉武　浩	［富士ゼロックス］
企画部次長（広報センター）	黒田　仁也	［（株）NTT ドコモ　九州支社］
企画部次長（広報センター）	白澤　恒平	［（株）コアラ］
国内誘致推進部次長	碓井　伸一	［（株）近畿日本ツーリスト九州］
国内誘致推進部次長	宮原　珠美	［大分県］
国内誘致推進部次長	原　敬子	［九州旅客鉄道（株）］
海外誘致推進部次長	八谷　省也	［全日本空輸（株）］
海外誘致推進部次長	水上　敏明	［熊本県］

○ ４月以降の主な事業

・平成２９年度下期九州観光素材説明会・相談会

（４月２７日、５月１７日、１８日、２２日、３０日：**東京都、名古屋市、大阪府、広島県、福岡県**）

◇◇ お問い合わせ先 ◇◇

一般社団法人　九州観光推進機構　企画部　川口、 坂口

TEL:092-751-2943（代表）

092-751-2946（国内誘致推進部ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ）

092-751-2947（海外誘致推進部ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ）

092-751-2951（九州観光広報ｾﾝﾀｰﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ）

FAX:092-751-2944

E-mail：infokyushu@welcomekyushu.jp

～編集後記～

今回も余りました第４回。はりきっていきましょう、新年度１発目！

新年度が始まり、異動があった方も多いのではないでしょうか。当機構も半分近くが入れ替わりとなり、新たな気持ちでスタートしています。様々な企業機関出向者で構成される当機構ですが、一丸となってがんばりますのでよろしくお願いします。「九州はひとつ」です！

４月はいろいろなイベントがありますが、私の地元長崎県諫早では「つつじ祭り」が開催中です。春＝桜のイメージですが、つつじも様々な色がありとてもきれいです。小学校の頃に、つつじの花を咥えて、蜜を飲みながら帰っていたことを思い出します・・・(笑)。懐かしく思われた方はぜひいってみてください。(坂)

この４月に長崎県から出向してまいりました。担当地域が九州の端っこから全体へと大きく広がり、各地の観光素材、歴史・文化、食を一から勉強しているところです。在任中は、これまで足を運んだことがない地域（もちろん九州内です）に旅行したいなあと考えています。

と書いたところ、早速、編集部員から手渡されたのが「九州八十八湯めぐり」。選定委員会が認定した 145 カ所の温泉を「御湯印帳」を持って巡るというものです。16 カ所回れば「入門」、24 カ所で「初級」に認定され、最高段位は 88 カ所（！）の「泉人」です。

「千里の道も一歩から」。まずは近場の二日市温泉から行ってきます。(川)